

「高信頼性鋼の山陽」のブランド力強化

「高信頼性鋼の山陽」を支える高い技術力を維持・拡大していくために、技術・技能の伝承や業務の改善、最新情報の紹介など多様な活動を展開しています。

技術・技能伝承活動の推進

「高信頼性鋼の山陽」を支えるため、ベテラン従業員が永年にわたって培ってきた当社の特殊鋼製造に欠くことのできない高度熟練の技術・技能を若年従業員に確実に伝承することが重要な課題です。当社では、この課題に対応するため、「全社技術・技能伝承推進チーム」を中心にマニュアルを整備して伝承方法の統一を図るとともに、個々の技能の「見える化」により効率的な伝承を推進しています。



TPM活動の推進

TPM (Total Productive Maintenance: 全員参加の生産保全) は、1971年に日本プラントメンテナンス協会が提唱したもので、災害・不良・故障など設備を中心に潜在するロス・ムダをはじめ、生産システム全体に潜在するあらゆる利益阻害要因を徹底的に排除して、生産効率(経営効率)を極限まで高め、製品の安定供給を実現・維持する活動です。

当社では、生産部門を主体に、自主保全・個別改善・計画保全・MP設計・品質安全・安全衛生・教育訓練の7項目に重点を置いて、製造現場の作業単位を基本としたサークル単位で、TPM活動を推進しています。

また、サークル単位でのTPM活動に対して定期的な成果発表の場を設け、優秀な活動事例については、社外発表大会で発表しています。



技術講演会の開催

当社では、鉄鋼に関する最新の研究・開発動向などを幅広く全社的に紹介するため、内外の研究者や技術者を講師に招いた「技術講演会」を開催しています。

2009年度は、大学教授による「軸受の損傷と破壊力学」や「凝固その場観察」と題する講演会など、「技術講演会」を合計4回開催しました。講演会では、毎回、多数の聴講者が参加し活発な質疑応答がなされ、大変有意義な講演会となっています。

